たにもと歯科クリニック

DENTAL NEWS 11/1



11 月になり、木々がオレンジや黄色に色づきはじめました。「日本の紅葉は世界一美しい」といわれ ていますが、実は、このように鮮やかな紅葉が見られる地域は、世界を見ても多くありません。美しい紅 葉が見られるのは、数多い樹木のなかでも落葉広葉樹だけ。その落葉広葉樹が多く分布しているのは、日 本をはじめ東アジアやヨーロッパの一部、北アメリカの東部など限られた地域なのです。なかでも日本は 国土の約7割が森林で、モミジやイチョウだけでなく、ブナ、カラマツ、ドウダンツヅジ、ソメイヨシノ などなど、沢山の種類の落葉樹があります。そのおかげで、私達は世界でも有数の美しい紅葉を見ること ができるのです。

秋は空気が乾燥し、唾液の分泌が減りやすい季節。お口が乾くと、むし歯や歯周病、口臭の原因に もなります。紅葉狩りやお散歩を楽しみながら、こまめな水分補給と、しっかり噛んで唾液を出すこと を意識しましょう。美しい紅葉を眺めながら、心と体、そして歯も健やかに秋を楽しみたいですね。





たにもと歯科クリニック

伊丹市寺本5丁月414 プチメゾンクダマ101号 住 所

雷 話

E-mail

info@tanimoto-dc.net

URL

http://www.tanimoto-dc.net/index.html

診療科日

一般歯科、小児歯科、歯列矯正、審美歯科

インプラント、予防検診

診療時間

診療時間/曜日	月	火	水	未	金	±	В
9:30 - 13:00	0	0	0	×	0	0	×
14:30 - 19:30	0	0	0	×	0	Δ	×



食欲の秋、よく噛んで食べていますか?

「87,600」 この数字は何の数字だと思いますか?

こたえは、80歳まで 1日3回食事をしたと仮定した食事の回数です。(3回 \times 365日 \times 80年 = 約87,600回!) 私たちは一生のうちに8万回以上も食事をします。「食べる」という行為は、健康や人生の質を左右する大切な時間です。毎回の食事、おいしく、よく噛んでいますか?

弥生時代の女王・卑弥呼(ひみこ)の時代、人々は1回の食事でなんと約3,900回も噛んでいたといわれています。一方、現代ではやわらかい食べ物が増え、その回数は約6分の1の620回まで減ってしまいました。「よく噛む」ことは、健康の基本であり、人間の進化が生み出したすばらしい機能です。

- **★「ひみこのはがいーぜ**」噛むことの効果をまとめた標語ご紹介します。
- **ひ:肥満予防**…よく噛むことで、脳に「お腹いっぱい」という信号が早く届き、食べ過ぎを防いで肥満を予防します。
- み:味覚の発達…噛む回数が増えると、食べ物の味をしっかり感じ取れるようになります。素材そのものの味を味わうことで、味覚が豊かに発達します。
- **こ:言葉の発音がはっきり**…よく噛むと顎や口の筋肉が発達し、歯並びや噛み合わせも整います。その結果、正しい口の開き方や発音ができるようになります。
- **の:脳の発達**…よく噛むことで脳の血流が増え、記憶力や集中力が高まります。よく噛む子どもの方が 学習成績が良いというデータもあります。
- は:歯の病気予防…しっかり噛むと顎が発達し、歯が正しい位置に生えやすくなります。また、唾液の 分泌が増えてむし歯や歯周病を防ぐ効果もあります。
- が: がん予防…唾液には、発がん物質を無害化する働きがあります。よく噛むことで唾液がたくさん出て、がん予防にもつながるといわれています。
- い一:胃腸快調…よく噛むことで食べ物が小さくなり、消化がスムーズになります。唾液に含まれる消化酵素の働きも活発になり、胃腸の調子を整える効果があります。
- **ぜ:全力投球(丈夫な体づくり)**…しっかり噛むことで体全体のバランスが整い、運動能力も向上します。歯並びの良い人ほど運動能力が高いという調査結果もあります。

★噛む回数を増やすコツ

「早食いかな?」と思う方は、食事にかける時間を決めてみましょう。普段 10 分で食べ終わる人も、30 分を目標にゆっくり食べることで、自然と噛む回数が増えていきます。おかずの一品に根菜・きのこ・海藻類などの噛みごたえのある食材を加えるのもおすすめです。

また、入れ歯を使用している人は、しっかり自分に合った入れ歯を使うことも大切です。合わない入れ歯は噛む力を弱めてしまいます。インプラントは自分の歯のように噛めるようになります。食後にキシリトールガムを噛むのもおすすめです。噛むことで脳の働きが活性化し、集中力アップにもつながります。「よく噛む習慣」を取り入れて、健康で豊かな食生活を送りましょう。



たにもと歯科クリニック



